

老年看護学概論	1 年・後期	1 単位	准教授 石久保 雅浩
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210691

1. 授業のねらい・概要

老年看護学は、高齢者が人生の統合に向けて老年期を生きられるように個人の力を引き出し、健やかに老いることを支える実践を科学する学問である。本授業では、老年期にある人の身体的、心理・精神的、社会的変化が及ぼす生活への影響、および高齢者を取り巻く環境や保健医療福祉システムを理解することを目的としている。高齢者の生きる過程を支援するために必要な基礎的知識・技術を学ぶ。

2. 到達目標

1. 老年期の身体的、心理・精神的、社会的変化を理解し、老いることを考えることができる。
2. 老年期の発達課題や生きがい等を理解して、老いを生きること考えることができる。
3. 高齢者を取り巻く環境、ケアシステムについて説明できる。
4. 高齢者の倫理的側面について説明できる。

3. 授業の進め方

本科目では、老年期を生活している人を理解するための基本的な知識・技術を学ぶ。

4. 授業計画

1. ガイダンス 老年看護の基盤
2. わが国の高齢化の現状
3. 加齢による身体的変化と生活
4. 加齢による心理・精神、社会的変化と生活
5. 高齢者の保健医療福祉システム
6. 高齢社会における権利擁護
7. 高齢者のリスクマネジメント
8. まとめ

5. 成績評価の方法・基準

筆記試験，課題レポート，平常点等で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

教科書： ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 老年看護学①
 ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 老年看護学②

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低 1 時間の予習及び授業内容について 1 時間以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

老年看護学実習の先修科目である。

積極的に高齢者を知ろうとし尊敬する気持ちを持って学習に臨むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明するか試験実施後解答を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合は進級不可となる。